

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院心臓血管外科に、胸部大動脈瘤で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学心臓血管外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

弓部大動脈瘤の大動脈プラークに対するバイオマーカーとしてのシスタチンCの意義に関する後ろ向き観察研究

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第一講座 教授 西村好晴

#### 3. 研究の目的

弓部大動脈瘤の手術において大動脈壁の動脈硬化は脳梗塞などの術後合併症の原因となります。大動脈壁の動脈硬化の程度を術前の採血検査で調べることができれば合併症を回避することにつながり有用です。しかし今までそのような研究はなされていません。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

弓部大動脈瘤の患者さんで、平成22年5月1日から令和元年10月31日までの期間中に、弓部大動脈瘤の手術を受けた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、術前の採血、術前の造影CTに関する情報です。

##### (3) 方法

術前検査として入院前に採血したシスタチンCと術前の造影CTから計測した大動脈プラークの相関関係を調べる。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学まるまる外科学第一講座 担当医師 西村好晴

TEL : 073-441-0615 FAX : 073-446-4761

E-mail : nishim-y@wakayama-med.ac.jp